

# やすらぎの じぞうもじをあなたに

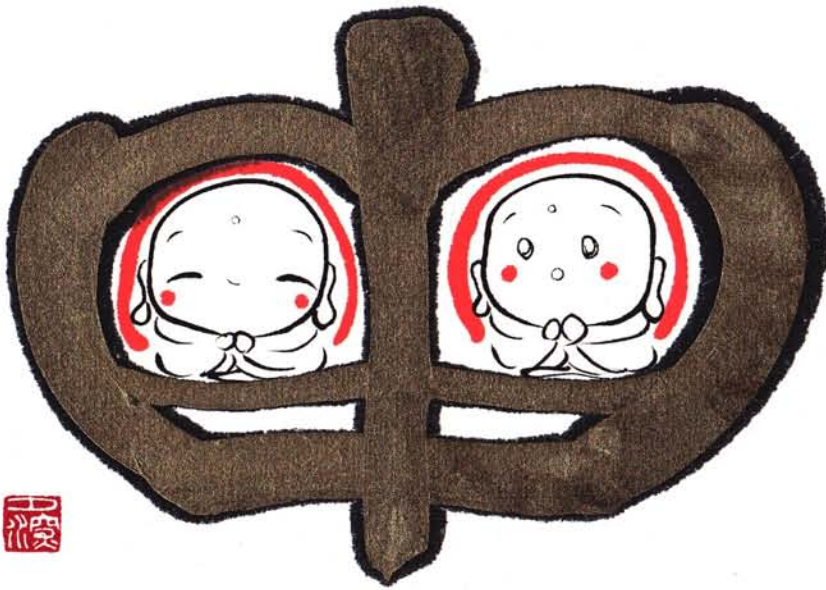
NO. 9  
2016年1月1日発行  
発行者 夕深  
981-1107  
仙台市太白区  
袋原郵便局留

問い合わせ先  
090-6221-6611

あけましておめでとつごいします

とろく六年

みほり、一年で  
ありまうようじ



新年おめでとつごいします。今年の干支は申年ですね。干支については、多くの謎があり、十二支に使われている文字のほとんどは動物とまったく関係のない字ですが、干支は農業との関わりが強く農作物を育てる際の季節や天候を目安として、十二支を暦として利用していたそうです。十二支は農作物の生長の過程を十二段階で表していた意味を持ち農業用語だったようです。「申」は干支の九番目になります。その意味は「伸びます」で「草木が十分に伸びきった時期で、実が成熟して香と味がそなわり固く穀におおわれていく時期」を表します。「申」という漢字は、「雷」の原字で、元々「稲妻(いなづま)」を表した象形文字です。稲妻は屈折しながら、あちこちの方向に走ることから

「申」を「のびる」という意味や「もうす」という意味で使うようになりました。雷は昔、神が鳴らすものとされ「神鳴り」とも書かれ、かみなりの語源であり「申」の字に示偏(しめすへん)をつける「神(神)」になります。その意味からも「申年」とは、良く伸び、成熟していく年であり、何事も真摯に受け止めていく年なのかもしれません。

## あるがまま

私事ですが、若いときに自分の下がり眉毛が嫌いで、半分剃り眉毛をキリッとおして描いていました。おしゃれを気にする若い頃は、それがとてもいいと思っていました。今はそんなことを気にすることもなくなりました。逆に全てのあるがままの自分を受け入れられるようになりました。じぞうもじを見て「このお地藏様の顔と似てますね?」とよく言われることがあります。似ていると言えば、きつ

とこの下がっている眉毛のせいかもしれない、と今思うのですが、「あるがまま」を受け入れて行く姿勢はきつと意味があり、人生の鍵の一つになるように思います。

## 人生の鏡(やすり)

角張ったものを丸く、ゴツゴツした表面をなめらかにするには、叩いて角を取り目の粗い鏡(やすり)で擦り、だんだんに目の細かい鏡で表面を磨き光らせる事ができます。ゴツゴツした表面を最初から目の細かな鏡で磨いてみても、光るまでいったいどのくらい時間がかかるのかわかりません。人生もそれに似ています。叩かれたり目の粗い鏡で擦られれば心も身体も悲鳴をあげるほど痛いでしょう。それを避けたいと思うのがきつと人間の本能です。でも、痛くない目の細かな鏡ですつと永遠にやさしく擦られても角は取れず光もせず何にも気づかず成長も出来ないまま終わってしまう

かもしれません。どちらが  
良いのでしょうか。人それぞ  
れ人生の鑢を持っていてと  
思うのです。目が粗いほど  
辛く苦難の日々を過ごす日  
もあるでしょう。目が粗い  
と言うことは、角が取れ、  
表面のゴツゴツがなくなれ  
ば・・・鑢の目がだんだん  
に細かく切り替わっていく  
きっかけになります。今、  
人生の鑢の目は、何番なの  
でしょう。

### じどうもじカレンダー

毎年、じどうもじカレンダー  
で多くの新たなご縁が生ま

れ、嬉しく思います。新た  
なご縁でいつもありがたく  
思うことがあります。  
それは、仙台から遠く離れ  
た地より、じどうもじカレ  
ンダーのお問い合わせを受  
けてご注文をいただくとき  
に、どこでじどうもじカレ  
ンダーをお知りになったの  
かを尋ねると、ほとんどの  
方から「昨年、友人（また  
は知人）にいただいて・・・」  
という言葉が返ってきます。  
そして、その言葉の後には、  
いただいた方が、当時とて  
も心がふさぎ込んでいたと  
きにこのカレンダーをいた  
だき、一年間心が安らいで

やさしさで強くなって美しくなる



過ごすことができず、  
と教えてくださり、私も本  
当に嬉しい気持ちになりま  
す。ご友人、お知り合いの  
方の心を想い、このカレン  
ダーを贈ってくださった方  
のお優しい心に触れ、私も  
心が温まります。人の温か  
な心が人の心を温める、そ  
んな心が世の中を包んでい  
けるようになったら、そん  
な思いでこれからもじどう  
もじを書き続けたいと思っ  
ます。心が伝わるように、  
やさしい思いを寄せながら。

### 秋保木の家さんでの 手書き

#### 手書き

仙台中心部から車で30分  
の距離に位置する秋保木の  
家さんで毎月最終日曜日に  
手書きをしています。2  
011年「石んことじどう  
もじ展」の開催をきっかけ  
に、木の家さんのご厚意に  
より継続して様々なポスト  
カードを置いてくださり、  
手書きをさせていたくださ  
うになりました。「木の家  
さんでじどうもじを見まし

た」「知りました」という  
声をこれまで数え切れない  
ほどお聞きしました。現地  
でご依頼をいただいたの手  
書きは、文字に込めた思い  
などを直接お話を伺いなが  
ら書いていきます。冬は雪  
を見ながら、春は桜と新緑  
に包まれて、夏は蝉しぐれ  
の中、秋は紅葉とともに、  
目の前に四季折々を感じ筆  
を持つことができるなんて、  
何より贅沢なひとときでは  
ないかと思うこの頃です。  
また、最終日曜日を待ちわ  
びて、遠方からわざわざ来  
てくださる方々へ感謝申し  
上げます。今年も秋保木の  
家さんでお待ちしております。  
□□□□□□□□□□□□□□  
秋保木の家・手しごと館  
(仙台市太白区秋保町湯元  
字馬乙2-1)にて毎月最終  
日曜日に書き下ろしをして  
います。十時半から一五時  
まで。  
地元作家さんの作品が並ぶ  
手しごと館の他に、うつわ  
館や珈琲館もあり、観光で  
秋保を訪れる方もゆつくり  
楽しんでいかれます。

### 今年のじどうもじ展

今年も龍寶寺様のご厚意に  
よりじどうもじ展を開催す  
ることとなりました。

年に一度の多くの作品を展  
示する「じどうもじ展」で  
す。どうぞ、じどうもじを  
観ながらのひととき、心を  
ゆつくり休めてください。  
じどうもじ展でも、もちろ  
ん手書きいたします。

□2016年5月3～5日  
午前10時～午後5時  
(最終日は三時半まで)

ところ・龍寶寺(りゅうほうじ)  
客殿にて

(宮城県仙台市青葉区八幡  
四丁目8番32号)

□バスでお越しの場合  
大崎八番宮前下車徒歩5分  
龍寶寺入り口下車徒歩5分

□駐車場あります。

やすらぎのじどうもじ新聞は、  
これまでじどうもじをご依頼  
いただいた方やカレンダーを購  
入いただいた方へ発送してい  
ました。何かありましたら気軽  
にお問い合わせください。